



有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

だより13号

1.有明浜の清掃活動

2024 年 4 月 13 日

さわやかな快晴の青空のもと、おつかれさます。5 番ゲート、24 名の参加です。ごみ袋は 15 と多く秋山さんが伐採したセンダンの枝と合わせ、軽トラック 1 台分ありました。



集合写真



何を捕まえたのかな？



受付

5月11日

ホースパーク近くの降り口付近から、有明浜へ行き清掃しました、20名の参加です。清掃の後は場所を移動して、海浜植物の観察会を行いました。(詳細は6ページをご覧ください)



6月8日

7番ゲート付近、16名の参加です。かがわ里海づくりのノボリも立っています（かがわ里海づくりパートナーの詳細は15ページをご覧ください）



広告

株式会社 宮本商店

観音寺市港町2丁目

☎ 25-4141

2.【観音寺市海岸・河川清掃の会】の紹介

寄稿 久保静江さん

公立高校の国語の教員で、現在は丸亀高校通信制に勤務しております。前任校で「探究」という教科の主任をしたことをきっかけに、「大人にこそ『探究』が必要だ」との思いから「海洋ゴミ」の問題に取り組もうと決め、2022年からフェイスブックの会「観音寺市海岸・河川清掃の会」を主宰し、月に1度豊浜町の和田浜の海岸清掃をしております。

瀬戸内海で発生したプラスチックゴミは、回収しなければ瀬戸内海を回遊し、一部は外洋へと出て、様々な動物の命を奪います。首にビニール袋が絡まったウミガメや、胃から大量のビニール袋が出たクジラの話を目にしたことはありませんか？また、マイクロプラスチックの人体への影響も看過できない問題です。

この問題を解決するには、プラスチックに囲まれた私たちの生活のシステム全般を改善する必要がありますが、個人の力では届かないため、まずは海岸清掃でプラスチックゴミを回収することから始めようと考えました。



和田浜は、地形や潮流の関係からか、観音寺市の他の海岸とは比べ物にならないほど大量の海ゴミが漂着します。フェイスブックの会は少しずつ認知度を高め、今では70名を超える会員がいます。全員が毎回活動に参加するわけではなく、毎回20名程度の方が参加してくれます。

しかし、参加者の8割が観音寺市外からの参加者であることから、「もっと観音寺市民にこの活動を知ってもらい、参加してもらいたい」と考え、3月に市民活動団体登録をするべく市役所を訪れ、窓口に置かれてあったパンフレットから、「有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会」の存在を知り、興味を覚えました。



また、時は前後しますが、2年前、観一の同窓会で偶然三好優子さんと席が隣になり、互いに「こうすれば観音寺市がもっと良くなるのではないかと意見交換をして、「観音寺市のために活動する団体が横のつながりを持てば各々の活動が活性化して地域の魅力となるのではないかと」という思いに至り、4月のフジバカマ一株オーナーのイベントに参加させてもらったのが入会のきっかけです。

4月の海岸清掃に参加させていただき、海浜植物について学んだ後ホームの和田浜を訪れると、それまでもあったはずなのに無知のため目に入らなかったコウボウムギやハマエンドウなど、有明浜と類似する植生が広がっていることに気が付きました。

今後も海浜植物について学び、和田浜を人が訪れる里海にしたいと思っています。また、こうした活動が観音寺市の地域活性化につながることを願っています。

3.有明浜の海浜植物観察会

2024年5月11日

有明浜清掃の後に行いました。毎年、同様な時期に観察会・花見会を行っています。ここでは、アツバスミレがたくさん花を咲かせていました。銭形砂絵の周囲に自生していて、海辺の環境（強風や砂地による乾燥）に対応するかのようには葉は厚く艶があります。

太平洋側に分布し、千葉県から鹿児島県に自生が確認されています。有明浜では4月下旬から咲き始めます。有明浜のアツバスミレは薄紫色が主だがやや白っぽい紫も見かける。

下記写真の撮影日は2023年4月10日のものです。

銭形でのアツバスミレの観察（5月11日）



ハマウツボの観察（5月11日）



ハマウツボは香川県内では有明浜だけに自生が確認されています。絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。葉緑素

を持たず、キク科のカワラヨモギなどに寄生することが多い。

葉は退化し小さくりん片状に茎につき、株の全体を軟らかい毛がおおう。



左右の写真撮影日は2021年5月のものです。

4.伊吹島での学校連携

2024 年 6 月 21 日

伊吹島の児童生徒と交流授業を行いました。持っていた苗は、金時草（きんじそう）、フジバカマ白花及び赤花、ヒヨドリバナ、フジバカマ原種です。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会より、高橋さん・庄司さん・太田さん・篠原先生の4名が参加しました。



プランターに植え付けします。



金時草を植え付けします。



植え付けの後は水やりをします。



観音寺市立伊吹小学校 大森校長より、お礼と児童たちの作文が送られてきましたので紹介します。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会のみなさまへ

梅雨の候、みなさまにおかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日はお忙しい中、また猛暑の中、総合的な学習の時間における「アサギマダラプロジェクト」のため来校いただき、また児童とともにフジバカマ等の植え付け作業をしていただき、ありがとうございました。フジバカマやキンジソウ等、アサギマダラが好む植物についてのお話は大変興味深いものでした。特に1年生にとっては、アサギマダラに関する学習の第一歩でしたので、1年生なりに「アサギマダラが飛翔する島」の価値についての理解を深めていく貴重なスタートとなりました。

今後、末永く「アサギマダラが飛翔する島」であり続けるために、まずは今回植え付けたフジバカマ等を大きく育てられるよう、児童の主体的な活動を促しながら、職員一同で児童のサポートをしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

2024年6月吉日

観音寺市立伊吹小学校
校長 大森 正隆

6月21日 金曜日



フジバカマとキンジソウをうえて

	て	く	べ	あ	し	い	ん	う	お	え	
	あ	が	て	さ	た	か	で	え	も	て	う
	げ	み	し	ぎ	。	ま	し	る	か	く	え
	た	つ	ま	ま	か	き	た	の	っ	れ	か
	い	け	う	だ	ま	り	。	は	た	ま	た
	で	て	の	ら	き	が	ち	か	け	し	を
	す	よ	で	を	り	い	い	ん	れ	た	お
	。	け	ぼ	た	は	ま	さ	た	ど	。	し

一年 まつもとこうのすけ

6月21日 金曜日



フジバカマとキンジソウをうえて

が	な	ば	う	が	す	む	な	る	う	マ	
た	っ	り	に	た	。	ず	え	と	え	と	今
の	て	ま	水	く	ア	か	を	き	ま	キ	日
し	花	す	か	さ	サ	し	入	に	し	ン	、
み	が	。	け	ん	ギ	か	れ	ま	た	ジ	フ
で	さ	大	を	く	マ	っ	る	っ	。	ソ	ジ
す	く	き	が	る	ダ	た	の	す	う	ウ	バ
。	の	く	ん	よ	ラ	で	が	ぐ	え	を	カ

二年 岩田 大詩

	が	ん	ぼ	っ	た	植	え	っ	け										
									四	年		岩	田		陽	菜	子		
	六	月	二	十	一	日	に	フ	ジ	バ	カ	マ	の	植	え	っ	け	を	し
ま	し	た	。	教	え	て	く	れ	た	の	は	去	年	来	て	く	だ	さ	っ
た	方	た	ち	で	し	た	。	フ	ジ	バ	カ	マ	の	植	え	っ	け	は	と
て	も	む	ず	か	し	か	っ	た	け	れ	ど	楽	し	か	っ	た	で	す	。
こ	の	べ	ん	き	よ	う	で	知	っ	た	こ	と	は	、	三	年	で	か	れ
て	し	ま	う	フ	ジ	バ	カ	マ	も	あ	れ	ば	、	す	ぐ	に	び	よ	う
き	に	な	っ	て	し	ま	う	フ	ジ	バ	カ	マ	も	あ	る	と	い	う	こ
と	で	す	。	だ	か	ら	び	よ	き	に	な	ら	ず	長	く	さ	か	せ	る
た	め	に	水	や	り	や	か	ん	さ	っ	を	み	ん	な	で	協	力	し	た
り	助	け	合	っ	た	り	し	な	が	ら	育	て	て	い	き	た	い	な	と
思	い	ま	し	た	。	そ	れ	に	ア	サ	ギ	マ	ダ	ラ	が	と	ん	で	来
て	く	れ	る	数	が	へ	っ	て	い	る	と	聞	い	た	の	で	、	自	分
た	ち	が	植	え	た	フ	ジ	バ	カ	マ	に	た	く	さ	ん	の	ア	サ	ギ
マ	ダ	ラ	が	来	て	く	れ	る	と	い	い	な	と	思	い	ま	し	た	。
今	日	は	フ	ジ	バ	カ	マ	や	ア	サ	ギ	マ	ダ	ラ	の	こ	と	を	た
く	さ	ん	教	え	て	く	だ	さ	っ	て	本	当	に	あ	り	が	と	う	ご
ぞ	い	ま	し	た	。	来	年	も	伊	吹	小	学	校	に	ぜ	ひ	来	て	く
だ	さ	い	。	楽	し	み	に	ま	っ	て	い	ま	す	。					

	フ	ジ	バ	カ	マ	を	植	え	て	分	か	っ	た	事					
										六	年		合	田		千	広		
	今	日	、	フ	ジ	バ	カ	マ	飛	翔	会	の	方	々	が	来	て	く	れ
ま	し	た	。	ぼ	く	が	植	え	て	い	る	時	に	学	ん	で	分	か	っ
た	こ	と	が	二	つ	あ	り	ま	す	。									
	一	つ	め	は	、	フ	ジ	バ	カ	マ	は	中	国	か	ら	輸	入	し	て
そ	れ	か	ら	、	日	本	全	国	に	広	が	っ	て	い	る	こ	と	が	分
か	り	ま	し	た	。	そ	れ	に	、	金	時	草	が	花	を	咲	か	せ	た
時	に	、	強	い	に	お	い	が	す	る	と	聞	い	て	ぼ	く	は	お	ど
ろ	き	ま	し	た	。														
	二	つ	め	は	、	フ	ジ	バ	カ	マ	は	品	種	改	良	さ	れ	て	い
る	こ	と	で	す	。	病	気	に	な	る	と	葉	が	白	く	な	っ	て	し
ま	う	こ	と	が	わ	か	り	ま	し	た	。								
	こ	の	よ	う	に	フ	ジ	バ	カ	マ	に	は	飛	翔	会	の	み	な	さ
ん	の	お	か	げ	で	詳	し	く	知	る	こ	と	が	で	き	ま	し	た	。
金	時	草	に	は	少	し	だ	け	独	特	な	に	お	い	が	し	て	す	ご
く	く	さ	い	こ	と	が	分	か	り	ま	し	た	。						
	今	回	は	フ	ジ	バ	カ	マ	や	金	時	草	を	教	え	て	く	だ	さ
り	あ	り	が	と	う	ご	ぞ	い	ま	し	た	。							

	フ	ジ	バ	カ	マ	の	植	え	っ	け	で	分	か	っ	た	こ	と		
											六	年		岩	田		蒼	大	
	今	日	フ	ジ	バ	カ	マ	飛	翔	会	の	み	な	さ	ん	に	フ	ジ	バ
カ	マ	の	植	え	方	を	教	え	て	も	ら	い	ま	し	た	。	そ	の	中
で	ぼ	く	が	分	か	っ	た	こ	と	は	、	二	つ	あ	り	ま	す	。	
	一	つ	め	は	、	フ	ジ	バ	カ	マ	の	に	お	い	で	す	。	フ	ジ
バ	カ	マ	の	に	お	い	は	、	甘	い	香	り	で	し	た	。	植	え	て
い	る	最	中	に	も	そ	の	香	り	が	し	て	幸	せ	な	気	持	ち	に
な	り	ま	し	た	。														
	二	つ	め	は	、	金	時	草	の	に	お	い	が	く	さ	い	事	で	す
金	時	草	か	ら	は	、	鼻	を	さ	す	よ	う	な	、	強	い	香	り	が
し	ま	し	た	。	し	か	し	、	ぼ	く	は	、	そ	の	に	お	い	が	好
き	で	し	た	。															
	こ	の	よ	う	に	、	フ	ジ	バ	カ	マ	の	植	え	っ	け	で	分	か
っ	た	こ	と	は	、	た	く	さ	ん	あ	り	ま	す	。	み	ん	な	で	植
え	っ	け	た	、	フ	ジ	バ	カ	マ	や	金	時	草	を	大	切	に	育	て
て	い	き	た	い	で	す	。	こ	の	先	、	金	時	草	の	に	お	い	が
も	っ	と	強	く	な	る	の	が	楽	し	み	で	す	。					

5.フジバカマ園 オーナー様による植え付け作業

2024 年 4 月 6 日

木之郷 フジバカマ園では快晴のもと、オーナー様によるフジバカマ苗の植え付けを行いました。例年より 1 週間遅れましたが、後方の千尋神社の桜もそれに合わせて満開です。



熱心に説明する太田さん。





広告

土木・舗装・港湾
コンクリート・アスファルト切削工事



美和建設株式会社

本 社 〒768-0072 観音寺市栄町1丁目1番13-501号 電話(0875)25-2208(代)
ストレッチビル5F FAX(0875)23-1480
三豊支店 〒769-1101 三豊市詫間町詫間7068-3 電話(0875)83-6205

6.かがわ里海づくりパートナー

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は「かがわ里海づくりパートナー」に登録されました。里海づくりとは、水産資源だけでなく、景観、憩いの場、食文化、観光など多くの恵みを楽しむ「豊かな海」を目指して、人の手を適度に加えて海域・陸域を一体的に管理する手法です。

里海づくりでは、多様な主体の参画のもと、施策を個別に捉えるのではなく、山・川・里（まち）・海のつながりを考えながら、総合的な施策展開を図ります。

香川県では、全域が瀬戸内海の流域であることや、県土がコンパクトで人の暮らしと海が近いという特徴を生かして、県下全域を対象とした里海づくりを県民の皆さんや関係者と連携・協働しながら進めていきます。

【文章は、香川県ホームページより引用】



海浜植物の保全活動

海浜植物が健全に生育できるように、その生態についての調査を行い、人や車に踏み倒されないような呼びかけなどを行う活動です。

海岸の植生を守ることは、海辺の生態系や生物多様性を守ることにつながり、生き物が多く生息する海をつくれます。

自然のなかで生き物に触れて、関心を持つことは、生き物のすみかである海辺の環境を守る気持ちにもつながります。

ビーチクリーン活動

ボランティアなどにより、ごみが漂着している海岸の清掃に取り組む活動です。海岸に漂着した海ごみを拾うことで、海の中のごみも減り、美しく、生き物の住みやすい海をつくれます。海岸のプラスチックごみを破片化する前に回収することは、マイクロプラスチックの発生を抑えることにつながります。

1000年先の未来へ。

美しい里、豊かな海



かがわ里海づくりロゴマーク



【文章は、かがわ里海ガイドブックより引用】

7.有明浜の海浜植物シリーズ【第6回】

今回はタイトゴメです、和名は高知県の柏島の方言から大唐米に由来します。香川県絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。



だより 13 号は広報誌編集委員が作成しました。

2024 年 8 月発行



茎は多肉質で長くはって多く分枝する。先は側枝と共に斜上して密に葉をつける。(一部、原色植物図鑑より引用)

タイトゴメは有明浜の公園内に絶滅したと思っていたが、わずかに自生が確認されました。タイトゴメは日陰を好み水を必要とします。自生地横に水路があり、それが好条件として育成につながったものと思います。大切に見守りましょう。



ホームページ